

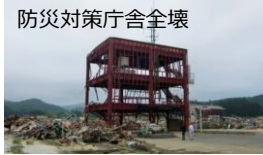
南三陸商工会

設立	平成17（2005）年4月1日
職員数	8名
会員数	464社

支援の狙い—総合的なリソースの提供—

【被災状況と復興の課題】

- ・南三陸町内4地区のうち、沿岸部3地区（志津川・歌津・戸倉）の被災率は9割超、町全体の被災率も8割超となる。沿岸部に町主要産業（漁業・水産加工業）や市街地が集中していたため、事業者等を含め町内事業者は壊滅的な被害となった。
- ・南三陸商工会は、志津川本所・歌津支所双方の施設設備を流失。平成23（2011）年7月に志津川地区高台の仮設施設で活動を再開。
- ・平成23（2011）年度水産業生産高は前年比23.6%に減少、水産加工業を中心とした製造業は同53.7%、雇用の場も多く喪失。早期の事業再建・再開による地域経済の復旧と雇用促進、復興に向けた地域経済振興が当会において最も重要な課題であり、被災事業者支援強化に伴う組織強化も求められた。



商工会の地域支援力創出プロセス⇒復興の加速

【事業目的】 ①経営改善普及事業 ②地域総合振興事業

2019年3月 経営発達支援計画認定（更新）

持続的な
地域集客力の
実現にむけて

震災復興支援アドバイザーによる総合支援
(Do tank 機能) Know how × Do how

【①復旧資金調達のためグループ化】
グループ補助金延べ19案件採択に寄与、
県単補助金申請支援含め早期復旧

【②事業計画の相談と作成支援（補助
金活用前提）】数値に基づく経営管
理、財務体制維持のアドバイス

【③グループ/個店の持続化支援】
「ものづくり補助金」「持続化補助金」
等を活用した成長戦略・事業計画

【④仮施設入居者見守り機能】
平成24（2012）年～平成29（2017）年
(127事業者)

個店店舗	21
2商店街内店舗	53
工場・事務所・倉庫	53



②商品開発、営業力強化等、
個社支援

小規模事業者
個店力強化
持続化

①グループ活動：
中小機構のハンズオン支援

震災復興支援の定期
派遣相談、訪問支援



中小機構
東北本部



南三陸商工会
産業強化

- 商業施設
- 南三陸さんさん商店街 28店
平成29(2017)年3月 本設商店街オープン
 - 南三陸ハマーレ歌津 8店
平成29(2017)年4月 本設商店街オープン

③実践販促セミナー：
中小機構のハンズオン支援

④仮設巡回
情報収集

南三陸町役場
地域整備・開発

支援成果

- ①グループ補助金採択の復興事業計画に関与（関与率90.5%）
→事業計画策定・資金調達支援等を経て、被災事業者の本施設復旧を実現
- ②補助金採択後の施設設備投資の充当管理、資金繰りアドバイス
→経営破綻事業者なし
- ③本設商店街集客は延200万人を突破（令和2(2020)年8月末）
→個店経営は順調に推移

●地域成長の要因

- ①町役場をはじめ各機関が役割分担＝共助の考えが徹底、各機関の機能を尊重
- ②粛々と策定した計画を実践
- ③震災前から商工業者をはじめ地域グループとしての団結と自力改善の意識が高い
- ④マザーマーケット＝商圈内客を重視、他地域事例を研究

商工会のコメント

震災直後から定期的にアドバイザー派遣支援をいただき、課題や諸問題について、商工会職員と共に悩み、考え、事業者に寄り添った復興支援を実施していただきました。
特に、被災事業者の復旧については、グループ補助金始め、多岐にわたり多くの事業者支援を実施頂いた感謝に堪えません。お陰様で、志津川・歌津両商店街が2017年春にグランドオープンしました。また、2020年8月には、200万人を超える来場者があり、南三陸町における交流の場として賑わいの創出を図っております。
加えて、宮城県商工会連合会主催の経営支援事例発表会で、最優秀賞を受賞するなど指導員の支援能力向上にもつながりました。